

米軍はファルージャ攻撃をやめろ！自衛隊はただちに撤退せよ 許せない！！住民大虐殺の蛮行

9日から「テロ掃討」を口実にファルージャへの「総攻撃」がおこなわれています。病院が占拠され、医師・看護士が拘束され、町中が破壊され、多くの市民に死傷者が出ています。電気も水道も止まり、食糧・医薬品が底をついています。このまま攻撃が続けばイラク戦争



で最悪の大惨事になりかねません。

イラク攻撃の口実とされた大量破壊兵器はなかったことが、米政府調査団の最終報告でも明らかになり、戦争の「大義」は完全に破綻しました。それなのに、ブッシュ政権は国連無視の侵略戦争と不法な軍事占領を続け、「テロ集団の撲滅」という口実でイラク市民の殺りくしているのです。

アメリカこそ最大のテロ国家

侵略者に抵抗するのはイラク国民の権利。罪もない市民を標的にし攻撃することがテロだとすれば、国連も認めない無法な侵略戦争と軍事占領をおこなない、数万人に及ぶイラクの市民を殺戮しているアメリカ・ブッシュ政権こそ、最大・最悪の犠牲を増やせば、占領者への憎しみと怒りが高まるのは当然です。アメリカは非人道的な無差別攻撃をただちに中止し、イラク国民の主権を回復し、国連中心の復興・支援に道を開くべきではないでしょうか。

日本政府の責任も重大

国連アナン事務総長をはじめ世界中がこの蛮行に懸念と反対を表明している中で、米軍の行動をいち早く支持して「成功させねばならない」と公言した小泉総理の態度を許せるでしょうか。

「邦人人質」が惨殺され、自衛隊の宿営地にミサイルが撃ち込まれても、「自衛隊は撤退させない」と繰り返す小泉内閣に抗議を集中し、12月14日の派兵期限切れ以降、継続しないよう要求しましょう。

国民は「イラク派兵継続反対」

10月26日付「朝日」世論調査。

「イラク派兵継続反対」63% 「賛成」は25%
*「イラク戦争を支持したのは正しい」という小泉首相の発言についても「納得できない」が67%、「納得できる」はわずか18%。
11月8日NHK「派兵延長反対」63% 「反対」26%。